

日本のロータリー100周年 ビジョンレポート 2020 資料編

日本のロータリー100周年実行委員会
ビジョン策定委員会

- 第1地域 国際ロータリー第2840地区 パストガバナー 本田 博己
(前橋ロータリークラブ)
- 第2地域 国際ロータリー第2620地区 パストガバナー 志田 洪顯
(静岡ロータリークラブ)
- 第3地域 国際ロータリー第2680地区 パストガバナー 大室 備
(宝塚武庫川ロータリークラブ)

2021年6月

概要

*本資料編は、『日本のロータリー100周年 ビジョンレポート 2020（本編）』を執筆した、私たちビジョン策定委員会の（準備期間も含めて）6年間の活動記録および活動期間中に作成した資料を記録として残すとともに、『ビジョンレポート 2020（本編）』における考察と提言の根拠とした、2017年と2019年の2回のロータリークラブに対する本格的なWEBアンケートの集計結果詳細を報告するものです。

特にWEBアンケートの結果集計詳細には、本編では触れることができなかったフリーアンサーに表れたロータリアンの生の声や本音？が表現されています。ロータリアンの声をクラブや地区のリーダー層がどのように受け止め、自らの課題にしてゆくかが問われているのではないのでしょうか。本編と合わせて、これからのクラブや地区の運営や方向性を検討する基礎資料・参考にしていただければ幸いです。

なお、全クラブに対する2回のアンケート集計は、データ量が大きいので、分冊の形で提供します。→ **24 ページ解説参照**

ビジョン策定委員会活動記録・資料（2015年～2021年）	2 ページ
WEB アンケート解説	24 ページ

分冊 1 : 2017 年 第 1 回 WEB アンケート結果詳細 (ビジョン策定委員会の質問項目のみ)	
分冊 2 : 2019 年 第 2 回 WEB アンケート① クラブ会長対象	
分冊 3 : 2019 年 第 2 回 WEB アンケート② 会員対象全体集計	
分冊 4 : 2019 年 第 2 回 WEB アンケート③ 会員歴 0～3 年	
分冊 5 : 2019 年 第 2 回 WEB アンケート④ 会員歴 4～10 年	
分冊 6 : 2019 年 第 2 回 WEB アンケート⑤ 会員歴 11～20 年	
分冊 7 : 2019 年 第 2 回 WEB アンケート⑥ 会員歴 21 年以上	
分冊 8 : 2019 年 第 2 回 WEB アンケート⑦ 会員歴別回答比較	
分冊 9 : 2017 年・2019 年 WEB アンケート共通項目回答比較	

ビジョン策定委員会活動記録・資料（2015年～2021年）

2015～16年度 2015年7月～2016年6月（準備委員会）

- ・第1回ビジョン策定委員会 2015年10月13日
- ・第2回ビジョン策定委員会 11月18日
- ・第3回ビジョン策定委員会 12月4日
- ・第4回ビジョン策定委員会 2016年2月5日
- ・第5回ビジョン策定委員会 6月5日

- ・日本のロータリー100周年委員会全体会議 6月30日
- ・地区ガバナーとのビジョン策定に関する意見交換会 6月30日
 - 資料① ビジョン策定に関する意見交換会 次第 …… 4ページ
 - 資料② ガバナーに対するアンケート内容 …… 5ページ
 - 資料③ ビジョン策定委員会 趣意書 …… 7ページ

2016～17年度 2016年7月～2017年6月

- ・100周年委員会委員長会議 2016年7月28日
- ・第6回ビジョン策定委員会 8月20日

- ・第1回WEBアンケート実施 2017年4月～5月
 - 資料④ 第1回WEBアンケート クラブ会長宛依頼状 ……10ページ
 - 資料⑤ 第1回WEBアンケート 質問項目（ビジョン策定委員会作成項目）
……11ページ

2017～18年度 2017年7月～2018年6月

- ・100周年実行委員会 2017年7月12日
- ・第7回ビジョン策定委員会 8月1日
- ・100周年実行委員会委員長会議 8月20日
- ・第8回ビジョン策定委員会 12月16日
- ・100周年実行委員会 12月18日

2018～19年度 2018年7月～2019年6月

- ・100周年実行委員会全体会議 2018年7月11日
- ・第9回ビジョン策定委員会 7月22日
- ・第10回ビジョン策定委員会 9月7日

- ・100周年実行委員会 10月15日
- ・第11回ビジョン策定委員会 11月21日

2019～20年度 2019年7月～2020年6月

- ・第12回ビジョン策定委員会 2019年7月30日
- ・100周年実行委員会全体会議 8月28日
- ・第2回WEBアンケート実施 2019年10月～11月
 - 資料⑥ 第2回WEBアンケート依頼状（クラブ会長宛）.. 13ページ
 - 資料⑦ 第2回WEBアンケート依頼状（地区ガバナー宛） 15ページ
 - 資料⑧ 第2回WEBアンケート質問項目 16ページ
- ・第13回ビジョン策定委員会 2019年11月19日
- ・第14回ビジョン策定委員会 2020年6月19日（オンライン開催）

2020～21年度 2020年7月～2021年6月

- ・第15回ビジョン策定委員会 2020年7月11日（オンライン開催）
- ・第16回ビジョン策定委員会 7月31日（オンライン開催）
- ・第17回ビジョン策定委員会 8月26日（オンライン開催）
- ・第18回ビジョン策定委員会 12月23日（オンライン開催）
- ・第19回ビジョン策定委員会 2021年6月25日（オンライン開催）
- ・『日本のロータリー100周年 ビジョンレポート2020』（本編・別冊資料編）
発行 2021年6月30日

資料① ビジョン策定に関する意見交換会 次第

2016年6月30日

ビジョン策定に関する意見交換会

日本のロータリー100周年委員会
ビジョン策定特別委員会

次第

司会 ビジョン策定委員会 大室 備
(RID2680 PDG 2013-14 宝塚武庫川)

15:00 開会

開会挨拶 RI 理事 杉谷 卓紀

100周年委員会について 準備委員長 RI 元理事 北 清治

15:20 100周年委員会委員自己紹介

15:30 ビジョン策定について（趣旨説明） ビジョン策定委員会 志田 洪顯
(RID2620 PDG 2013-14 静岡)

15:40 意見交換（ビジョンアンケートの質問項目に従って）

進行役 ビジョン策定委員会 本田 博己
(RID2840 PDG 2013-14 前橋)

16:55 閉会挨拶 RI 理事エレクト 齋藤 直美

17:00 閉会

資料② ガバナーに対するアンケート内容（2016年）

2015-2016年度ガバナーの皆様へ

2016年6月

日本のロータリー100周年ビジョンアンケートへのご協力をお願いします。

2015-2016年度ガバナーの皆様、任期満了まことにおめでとうございます。また、ガバナー職を全うされ、大変お疲れ様でした。

ビジョン策定特別委員会では、日本のロータリー100周年のビジョン策定に当たり、シニアリーダーの皆様のご現状認識とご意見を広く収集しながら、論点・課題を整理してゆくことを考えております。つきましては以下の質問にご回答いただきたくご協力をお願い申し上げます。

ビジョン策定特別委員会 第1ゾーン本田博己、第2ゾーン志田洪顕 第3ゾーン大室 備

各列のロータリーの用語の中であなたが重要と思われる、または好きな順に順位をつけ、下の列に1～5(4, 6)の順位を記入してください。順位付けが難しいものもありますが、強いて付けるとすればどうなるかでお考えください。アラビア数字でお願いします。						
1	4つのテスト	ロータリーの目的	RIの使命	R財団の使命	中核的価値観	
2	クラブのサポートと強化	人道的奉仕の重点化と増加	公共イメージと認知度の向上	財務的持続性		
3	奉仕Service	親睦Fellowship	多様性Diversity	高潔性Integrity	リーダーシップ	
4	クラブ奉仕	職業奉仕	社会奉仕	国際奉仕	青少年奉仕	
5	平和と紛争予防/解決	疾病予防と治療	水と衛生	母子の健康	基本的教育と識字率向上	経済と地域社会の発展
6	新会員勧誘	退会防止(会員維持)	新クラブ結成	女性会員	職業分類	
7	ポールハリス	アーサーF・シェルドン	ハーバード・テラー	アーチ・クランフ	米山 梅吉	
8	超私の奉仕 Service Above Self	奉仕の理念 The Ideal of Service	最もよく奉仕するもの 最も多く報いられる One Profits Most Who Serves Best	世界で良いことをしよう Doing Good n the World	今こそ ポリオ撲滅のとき End Polio Now	

9	奉仕を通じて 平和を Peace Through Service	ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を Engage Rotary Change Lives	ロータリーに 輝きを Light up Rotary	世界へのプレゼント になろう Be a Gift to the World	人類に奉仕する ロータリー Rotary Serving Humanity
以下の6項に関してご自由にご記入ください。					
1	ガバナー職を通じて、RIと地区やクラブとの間にギャップを感じたことがありますか？ ありとすればどのような？				
2	日本のロータリーはこの100年、世界に対してどんな貢献をしてきたでしょうか？ また将来どんな貢献ができればよいでしょうか？				
3	現在の日本のロータリーの課題は何だと思えますか？				
4	日本のロータリーのあるべき将来像はどのようなものだとお考えですか？				
5	日本のロータリーの、世界のロータリーに対する 発信力・影響力 を高めるアイデアをお聞かせください。				
6	ご自由に ご意見を(どんなことでも)				

ご協力ありがとうございました。

*なお本アンケート記入後のコピーを、6月30日(木)の「ビジョン策定に関する意見交換会」(午後3時～午後5時)にご持参ください。意見交換会の際にアンケートの主として2ページの設問に関して皆様のご意見をお伺いする予定です。

資料③ ビジョン策定委員会 趣意書

2016年6月30日

なぜ「ビジョン策定特別委員会」が設置されたのでしょうか？ ～日本のロータリー100周年に向けて～

ビジョン策定特別委員会

第1ゾーン RID2840 PDG 本田 博己

第2ゾーン RID2620 PDG 志田 洪顯

第3ゾーン RID2680 PDG 大室 儁

<ビジョン策定の必要性>

12年前（2004-05年度）、私たちはロータリー100周年と、私たちが世界的ネットワークの一員、ロータリアンであることを祝いました（Celebrated Rotary）。そして翌年度、奉仕の第2世紀1年目のRIテーマは、いつもの年度の会長テーマではなく、ロータリーの第1標語「超我の奉仕」“Service Above Self”でした。

2005-06年のカール・W・ステンハマー会長は、当時、この標語ほど「的確にロータリーとロータリアンの精神を言い表している言葉は」なく、「ロータリアンを鼓舞する最も意義深い言葉」であり、「来たる年度、すべてのロータリアンに『超我の奉仕』の真の意味をじっくりと考えていただく機会が与えられます。そして、この思いやりと寛容の精神に満ちた普遍的メッセージに、新たな思いを抱かれることになると思います。」と語っていました。

当時、私たちはどこまでステンハマー会長の言葉を真摯に受け止めたのでしょうか。その時、「ロータリーの目的」に謳われている「奉仕の理念（理想）」に深く思いを致しながら、新世紀のあるべきロータリー像を皆で語り合うことができていれば、日本のロータリーのさらなる発展を促す絶好の機会になっていたはずなのですが。

奉仕の第2世紀が始まって最初の10年も、日本のロータリーは、会員数の大幅な減少傾向が続きました。また、多くの地区・クラブでは前例主義の旧態依然とした組織運営が残っており、弱体化したクラブの再生、元気なクラブづくり、会員増強、そして地区組織の改革が、毎年度の地区ガバナーの大きな課題となっています。

一方、2011年の東日本大震災（3.11）以降、日本のロータリークラブでは、活動や組織存続についての危機意識が高まり、同時に、大震災復興支援の新たな奉仕プロジェクトの開発等、クラブ活力再生への取り組みも活発になってきつつあります。

RIは、21世紀に入り、地区リーダーシップ・プラン（DLP）、およびクラブ・

リーダーシップ・プラン (CLP) を推進し、組織機構や組織運営の抜本的改革を図っています。また、近年「RI の戦略計画」“Strategic Plan” を提唱し、地区やクラブレベルでの戦略計画の立案も奨励しています。最近では、2016 年の規定審議会で、クラブ例会・出席規定および会員資格の柔軟性を認める組織規定の改正案が採択され、皆様も大きな時代の変化を感じているのではないのでしょうか。

しかし、残念ながら日本のロータリアンの中には RI の方向性や潮流に背を向けて (無視・否定または消極的)、世界のロータリーとの対話を避ける人も少なくありません。その結果、RI の方向性や現状に疑問を感じる日本のロータリアンも増えており、このままでは、日本のロータリーがロータリー世界の中で孤立化 (意識のギャップが拡大) してゆき、世界全体のロータリー運動の中で、日本のロータリーの影響力の低下や価値観・方向性の認識における世界とのずれが益々広がってゆくことが懸念されます。

日本独特のシェルドン研究や古典的職業奉仕論、職業倫理に関する議論の中には、世界のロータリーに対して発信する価値のある深い考察が含まれるものの、世界のロータリーが理解し共通認識が得られるような言葉にはなっていません。そして、それだけを根拠としたり、頼ったりするだけでは、多様で広範な現代のロータリー運動の全貌を捉えることも説明することもできません。

クラブで奉仕の実践を何もしないことの言い訳に「職業奉仕論」を持ち出す会員が見受けられるのも残念なことです。これも日本の伝統的な「職業奉仕論」がもたらした弊害の表れのひとつかも知れません。

このような、世界のロータリーとの対話や意思疎通を図り共通認識を得てゆくために「障害」となる日本のロータリアンの意識は、克服する必要があると考えます。

<日本のロータリー100周年に向けて>

4年後の2020年は、東京ロータリークラブが設立されてちょうど100年という節目の年を迎えます。この日本のロータリー100周年を私たちはどのように迎えるか、が今問われています。

国際ロータリーの方向性 (戦略計画、未来の夢計画等) に背を向けて日本独自の孤立路線を歩むのか、それとも世界的ネットワークの重要な一員として、理念と活動の両面で21世紀のロータリー運動にリーダーシップを発揮できるようになるのか、二つの道のどちらに向かおうとしているのか、大きな岐路にあるのではないのでしょうか。

日本のロータリーは、孤立や独自路線をめざすのではなく、国際ロータリーの一員として、世界のロータリーとの対話を深め、奉仕の第2世紀に相応しいロータリー理念と実践に関する基本姿勢を鮮明にすること、そして、そのビジョンをロータリー世界に発信し、共通認識を創ってゆくことに努める必要があるの

ではないでしょうか。

日本のロータリー100周年の2020年は、東京オリンピックが開催される年でもあります。世界中が日本に注目する年です。我々日本のロータリアンは、閉鎖的な姿勢に陥ることなく、世界に向けてロータリー運動の発展と世界の平和に貢献できるビジョンを自ら考え、発信してゆくチャンスではないでしょうか。このチャンスの年に向け、それぞれの立場で今から具体的な準備と行動を起こすべきではないでしょうか。

<ビジョン策定特別委員会の目的と進め方>

以上のような認識を踏まえて、日本のロータリー100周年委員会の中に「ビジョン策定特別委員会」が設置されました。私たち3名の委員は、これまで5回の会議を行い、委員会の目的・方針・進め方を検討してきました。

北 清治 100周年委員会準備委員長（RI元理事）は、2020年を「未来志向のロータリー像を語り合う絶好の機会」と位置付け、「その語らいの中から日本のロータリー奉仕の新世紀に相応しい、ビジョンが描かれることを願っております。」と語っています。

私たちが考える ビジョン策定特別委員会の目的は、

「日本のロータリーの現状と課題を明らかにし、全国のロータリアンの合意を形成しながら、世界のロータリーに発信できる、日本のロータリー100周年にふさわしい、日本のロータリーの希望あふれるビジョン（将来像）を描く。」 というものです。

具体的には、これまで世界のロータリー運動の中で重要な地位を占めてきた日本のロータリーが、今後も存在感と影響力を高めてゆくために何が必要か、日本のロータリーの奉仕の新世紀に相応しい未来志向のビジョンとは何か、を明らかにしてゆきたいと考えています。

そのためには、シニアリーダーの皆様の英知を集めること、日本のロータリーの現状と課題を明らかにすることが極めて重要であると考えます。

本日の「ビジョン策定に関する意見交換会」は、地区ガバナーの職務を経験され、地区やクラブの現状や課題を最も深く認識・実感しておられる皆様の忌憚のないご意見をお聞きする貴重な機会と位置付けています。

私たちビジョン策定委員会では、今後日本のロータリー100周年に向けて、ガバナー会、ロータリー研究会、地域雑誌『ロータリーの友』等、あらゆる機会・媒体を通じて、日本のロータリーリーダーはじめ全国のロータリアンに対してビジョン策定についての情報発信、アイデア募集、そして協力要請をしてゆく予定です。

趣旨ご理解賜り、今後も当委員会に対するご助言ご協力を心よりお願い申し上げます。

以上

資料④ 第1回 WEB アンケート クラブ会長宛依頼状

2017年4月24日

ロータリークラブ会長 各位

日本のロータリー100周年委員会
全体統括 RI 理事 齋藤 直美 (RID2840PDG)
委員長 元 RI 理事 北 清治 (RID2840PDG)
ビジョン策定特別委員会委員長 本田 博己 (RID2840PDG)
記念式典等特別委員会委員長 鈴木 喬 (RID2580PDG)
組織連携特別委員会委員長 水野 功 (RID2750PDG)

「2020年日本のロータリー100周年に関するアンケート」のお願い

拝啓 陽春の候 ロータリークラブの皆様にはお元気にご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、すでにご案内のことと存じますが、昨年より「日本のロータリー100周年委員会」が発足し活動を開始しました。(『ロータリーの友』2016年9月号の記事「日本のロータリー100周年に備えよう」(40~41頁)参照)当100周年委員会では3つの特別委員会が、日本のロータリー100周年をどのように迎えるか、各担当分野で検討を進めています。そしてこの検討も全国のロータリークラブの期待する方向に進めたいと思います。

つきましては、先般お伝えいたしました、日本の全クラブ対象にWEBアンケートを実施することになりました。このアンケートは、2020年の100周年に向けて、それぞれの特別委員会の方針や企画を定めてゆくために、全国のロータリークラブの皆様の忌憚のないご意見をお聞きするためのものです。

WEB形式になっており、下記URL(メール内に記載)にアクセスしていただき、ネットを通じてご回答をお願いいたします。年度の後半に入り何かとお忙しいときと存じますが、趣旨ご理解賜り、皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

敬具

記

- 1) 趣旨を御理解頂きご回答をお願い申し上げます。
- 2) WEBアンケートのスクリーンショットを別紙におつけいたしました。印刷して頂いて事前に下書きしてWEBに入力頂くと便利です。
- 3) WEBアンケートのシステムは控えの画面や確認メールは届きません。その意味でも別添のスクリーンショットを印刷し、メモするなどご活用下さい。
- 4) WEBアンケートのご回答は、**5月19日(金)まで**にお願いいたします。
- 5) WEBアンケートのURLは次の通りです。 <https://.../...>
アドレスをコピーして頂き、ペーストして開いて頂くか、メール本文のアドレスをクリックして下さい。
- 6) 尚、このアンケートは10分程度でご回答いただけます。

*尚、本件に関するお問い合わせはガバナー会事務局宛、Eメールにてお願い申し上げます。ガバナー会 Email : govkai@orange.ocn.ne.jp

以上

資料⑤ 第1回 WEB アンケート質問項目（ビジョン策定委員会作成項目）

対象：全クラブ（クラブ会長・幹事宛）

趣旨：クラブの直面する課題と、クラブの問題意識を探る

1. あなたのクラブが直面している大きな課題は何ですか？（複数回答可）

<会員について>

- 入会候補者がいない 例会の出席率が悪い 会員の高齢化
 例会の出席率が悪い 会員間の意識のギャップ 女性会員未入会
 例会の出席率が悪い 会員減少 その他（ ）

<クラブ運営について>

- ネット対応不十分 活力がない 前例主義から脱せない 長老支配
 RI の変化についてゆけない 会員に対するロータリー研修不足
 新しい奉仕プロジェクトの開発ができない 若い会員のニーズに応えられない
 ビジョン・戦略計画づくり未着手 公共イメージ・認知度の低さ
 例会・委員会活動や奉仕プロジェクトのマンネリ化
 姉妹・友好クラブとの交流がない 地区への役員派遣が少ない
 その他（ ）

2. 会員がロータリーを続ける理由は何だと思いますか？（複数回答可）

- 例会が楽しいから 生涯の友人、魅力的な仲間ができるから
 心からの親睦が得られるから リーダーシップを発揮する機会
 奉仕の理念を信奉しているから 自己研鑽と学習・成長の機会
 奉仕活動ができるから 世界の仲間とつながっているから
 寄付を有効活用できるから 世界的な問題の解決に貢献できるから
 その他（ ）

3. 2016年規定審議会における、クラブ運営に大幅な柔軟性（例会、出席、会員身分）の導入について、クラブとしてどのように対応しましたか？

- 従来の規定通りに運営している
 柔軟性を導入した（または、今後導入する）
 例会 出席 会員身分
 その他（ ）

4. RI の戦略計画についてお聞きします。

- 内容を十分理解している よく知らない
- ・重要だと考える中核的価値観は？（複数回答可）
 奉仕 親睦 多様性 高潔性 リーダーシップ
- ・重要だと考える戦略的目標は？（複数回答可）

資料⑥ 第2回WEBアンケート依頼状（クラブ会長宛）

2019年10月28日

ロータリークラブ会長 各位

日本のロータリー100周年実行委員会
2019-2020年度
委員長 RI理事 三木 明 (RID2680)
ビジョン策定委員会

「クラブと会員のロータリーに関する意識調査(アンケート)」のお願い

拝啓 清秋の候ロータリークラブの皆様にはお元気にご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、日本のロータリー100周年実行委員会では、来年2020年を日本のロータリーにとって新たなスタートとなる意義ある年にすべく準備を進めております。

100周年実行委員会では、2017年4月～5月にかけて、全クラブ対象WEBアンケート（「2020年日本のロータリー100周年に関するアンケート」）を実施しましたが、クラブの関心が極めて高く、高い回答率（61.5%）でした。（結果は、地区ガバナー事務所を通じて各クラブに送付するとともに、『ロータリーの友』2017年11月号に掲載いたしました。）なかでも、ビジョン策定委員会が作成した質問に対する回答は、日本のロータリークラブが直面する課題を端的に浮き彫りにしたと考えます。

ビジョン策定委員会では、日本のロータリアンの意識とロータリークラブの現状と課題を十分に踏まえて、ビジョンの方向性を定め、来年「100周年ビジョンレポート」をまとめてゆきたいと考えています。

前回のアンケートで得られた、クラブの現状と課題に関するデータを踏まえ、さらに、クラブとロータリアンの意識を深く探るべく、再度全クラブに対するWEBアンケートを企画いたしました。

今回は、各クラブ5名（クラブ会長と会員歴が偏らない4名の会員：例えば、入会3年以内、4～10年、11年～20年、20年以上の会員1名ずつ）にご回答いただきたいと存じます。

つきましては、以下の要領でアンケートにご協力いただきたくお願い申し上げます。

WEB形式になっており、下記URL（メール内に記載）にアクセスしていただき、ネットを通じてご回答をお願いいたします。何かとお忙しいときと存じますが、趣旨ご理解賜り、皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

敬具

記

- 1) 趣旨を御理解頂きご回答をお願い申し上げます。「A.クラブ会長対象」の項目はクラブ会長にご回答をお願いします。
「B.クラブ会員対象（会員歴別）」は4名の会員に割振っていただいた上でご回答をお願いします。
◎A 会長アンケート (WEB サイト URL)
◎B 会員アンケート (WEB サイト URL)
- 2) WEB アンケートの内容を簡単に別紙におつけいたしました。印刷していただいて事前に下書きしてWEBに入力頂くと便利です。
- 3) WEB アンケートのシステムは控えの画面や確認メールは届きません。その意味でも、別紙を印刷し、メモするなどご活用下さい。
- 4) 訂正の場合は再度お送り下さい。
- 5) WEB アンケートのご回答は、11月20日（水）までにお願いします。
- 6) WEB アンケートのURLは上記の通りです。アドレスをコピーしてペーストして開いていただくか、メール本文のアドレスをクリックして下さい。
- 7) なお、このアンケートは15～20分程度でご回答いただけます。

以上

資料⑦ 第2回WEBアンケート依頼状（地区ガバナー宛）

2019年10月28日

2019-2020年度ガバナー各位

日本のロータリー100周年実行委員会
2019-2020年度
委員長 RI 理事 三木 明 (RID2680)
ビジョン策定委員会

クラブと会員のロータリーに関する意識調査（アンケート） ご協力をお願い

前略 お元気にご活躍のことと存じます。

さて、早速ですが、日本のロータリー100周年に向けた「クラブと会員のロータリーに関する意識調査（アンケート）」に対する、各クラブ会長の皆さま宛てのご協力お願い文を送信させていただきます。今回の調査は、2017年4～5月に実施した日本のロータリー100周年実行委員会の全クラブWEBアンケートの追加調査であります。前回のアンケートで得られた、日本のクラブの現状と課題に関するデータを踏まえ、さらに、クラブとロータリアンの意識を深く探るべく、再度全クラブに対するWEBアンケートを企画した次第です。

つきましては、お手数ですが地区内各クラブ会長様宛に配信して頂きますようお願い申し上げます。WEBアンケートは案内にありますURLに各クラブでアクセスして頂き、ネットを通じてご回答をお願いすることになっております。

ご多用のなか、恐縮ですがクラブ会長・幹事の皆さまへの周知徹底のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

末筆乍ら、各位の益々のご健勝、ご多幸を心よりお祈りいたします。

草々

B. クラブ会員対象（会員歴別）

1. あなたは、下記のクラブの活動について満足していますか？

満足 どちらかといえば満足 どちらでもない どちらかといえ
ば不満 不満

- (1) 例会
- (2) 親睦活動
- (3) 新会員勧誘
- (4) 委員会活動
- (5) ロータリー研修
- (6) 奉仕活動
- (7) 広報活動
- (8) 財団・米山への寄付
- (9) 会費の額
- (10) 会員同士の交流

2. あなたは、より良いクラブにするため、クラブの現状を変えてゆくべきだと思
いますか？

とてもそう思う どちらかというと思う あまりそう思わない
全く思わない わからない

とてもそう思う、どちらかというと思う 人はその理由について（記述）

3. 下記のクラブの活動に対するあなた自身の参加の度合いは？

参加したくて、積極的に参加している 義務的に参加している 参加したい
が、できていない できれば、参加したくない 考えたことがない

- (1) 例会
- (2) 委員会活動
- (3) 会員増強
- (4) 会員研修
- (5) 地域奉仕プロジェクト
- (6) 国際奉仕プロジェクト
- (7) クラブの広報活動

- (8) 募金活動
- (9) ロータリー財団寄付
- (10) 米山奨学会寄付
- (11) 親睦活動

4. あなたは、クラブ内に親しい友人や尊敬する人が何人いますか？

- 1人 2～5人 6～10人 11人以上 いない

5. あなたの仕事（本業）を別にして、ロータリー活動に参加する優先度は？

- ロータリーが最優先
- 他の経済や地域の団体活動が最優先
- 趣味や同好会が最優先
- ボランティア活動最優先
- 家族の時間最優先
- 他の活動と同等
- 他の活動に比べてロータリーの優先順は低い

6. あなた自身にとってロータリーの価値は何ですか？（あなたがロータリーを続ける理由は）（複数回答可）

- 例会が楽しいから
- 生涯の友人、魅力的な仲間ができたから
- 社交の場
- ステータスだから
- 心からの親睦が得られるから
- 人生の道場
- リーダーシップを発揮する機会
- 奉仕の理念を実践する機会
- 自己研鑽と学習・成長の機会
- 奉仕活動ができるから
- 人脈・事業機会が広がるから
- 経営理念にロータリーの理念が生かせるから
- 地域社会に貢献できるから
- 寄付を有効活用できるから

- 青少年の育成
- 「奉仕の理念」の奨励
- 職業人としての成長
- 会員同士の相互研鑽
- その他（ ）

1 4. ポリオ根絶後、ロータリーは、地域社会や世界に対してさらにどのような貢献ができると思いますか？（ロータリーが次に取り組むべき大きな課題は何でしょうか？）（複数回答可）

- 地域社会・地域共同体の課題解決
- 青少年の育成
- 次世代リーダーの育成
- 地域経済の発展
- 高齢社会の諸問題への対応
- 地球環境保全
- 国連の SDG s（持続可能な開発目標）と連携
- 他の奉仕団体とのパートナーシップを推進
- 職業倫理の高揚
- 奉仕の理念の奨励と実践
- ロータリーの6つの重点分野のどれかに特化
- その他（ ）

1 5. あなたは積極的にクラブの運営に関わりたいですか？

- ぜひ関わりたい
- 関わってみたい
- 既に関わっている、関わったことがある
- できれば関わりたくない
- 絶対に関わりたくない

ぜひ関わりたい、関わってみたい人はどんな分野で関わりたいか（記述）
 できれば関わりたくない、絶対に関わりたくたくない人はその理由（記述）

WEB アンケート解説

(分冊の WEB アンケート結果集計に関する委員会のコメント)

1. 本資料編は、分冊の形で、2017年と2019年の2回にわたって実施した全クラブ（会長・会員）対象のWEBアンケートの集計結果詳細を報告する。分冊の内容は下記の通り。

- 分冊1：2017年 第1回 WEB アンケート結果詳細
(ビジョン策定委員会の質問項目のみ)
- 分冊2：2019年 第2回 WEB アンケート① クラブ会長対象
- 分冊3：2019年 第2回 WEB アンケート② 会員対象全体集計
- 分冊4：2019年 第2回 WEB アンケート③ 会員歴 0～3年
- 分冊5：2019年 第2回 WEB アンケート④ 会員歴 4～10年
- 分冊6：2019年 第2回 WEB アンケート⑤ 会員歴 11～20年
- 分冊7：2019年 第2回 WEB アンケート⑥ 会員歴 21年以上
- 分冊8：2019年 第2回 WEB アンケート⑦ 会員歴別回答比較
- 分冊9：2017年・2019年 WEB アンケート共通項目回答比較

- (1) 分冊1は、2017年4～5月に実施した全クラブ（会長）対象の第1回WEBアンケートの、ビジョン策定委員会作成の質問項目部分の結果集計を抜粋したものである。(全体の結果報告は、『ロータリーの友』2017年11月号参照)
- (2) 分冊2～7は、2019年10～11月に実施した全クラブ対象の第2回WEBアンケートの集計結果である。
分冊2は、クラブ会長対象の集計。分冊3は、会員対象の全体集計。
分冊4～7は、会員対象アンケートを、会員歴別に4段階（0～3年、4～10年、11～20年、21年以上）に分けて集計している。
- (3) 分冊8は、分冊4～7の会員歴別の回答を比較してみた。
- (4) 分冊9は、2017年調査と2019年調査の共通質問項目についての回答を比較している。

2. 2回のWEBアンケートの設計、実施、集計・分析および結果の視覚化は、株式会社ロードフロンティア様（代表取締役 並木将央氏）にお願いした。改めて御礼申し上げます。

本資料集の分冊は、ビジョン策定委員会が編集したものである。

3. 編集に当たっては、フリーアンサー部分に見られた明らかな誤字・脱字を修正するとともに、クラブ名、地区名等特定できる固有名詞は除いた。

4. 以下、2019年の第2回WEBアンケートに関して。

(1) 会員歴別の各クラブ4名の会員回答者の選考は、各クラブの会長に一任した。その段階で、ロータリーに対する関心や意識の高い会員がピックアップされた可能性もある。

《以下、フリーアンサーより》

(2) 様々な項目から選択するアンケートの問いに、回答すること自体がロータリーの学びの機会となった、との感想を述べた人が多かった。

(3) 第2回WEBアンケートでは、会員対象の回答ページに、回答の重複を防ぐため氏名の入力を求めたが、WEB上で個人が入力するので、集計上も氏名が特定されることはない。しかし、会員の中には、記名することに抵抗感を示す人も多数いた。自由に自分の意見が言えないクラブの風土がうかがえる。

(4) WEB上で回答入力時に、入力後クリックすると次の画面に進み、後戻りできず、後で回答の確認ができないとの苦情もあった。お詫びする。

(5) 本アンケートのようなロータリアンの意識調査を今後も定期的実施してほしいという要望が多かった。

(6) 本アンケートの結果報告に期待する声が多数あった。コロナ禍もあり、本編も含めて本レポートの取りまとめに予想外の時間を要し、報告が遅くなったことを、回答をいただいた皆様にお詫びする。

以上

日本のロータリー100周年
ビジョンレポート 2020
別冊 資料編

日本のロータリー100周年実行委員会
ビジョン策定委員会

第1地域 RID2840 PDG 本田 博己 (前橋)
第2地域 RID2620 PDG 志田 洪顯 (静岡)
第3地域 RID2680 PDG 大室 備 (宝塚武庫川)

2021年6月30日